

1. 科目名 (単位数)	日本近代文学史 (2単位)	3. 科目番号	EJJP3383										
2. 授業担当教員	東條 和子												
4. 授業形態	講義、ディスカッション、グループワーク等	5. 開講学期	秋期										
6. 履修条件・他科目との関係	「日本文学と文化」を受講していることが望ましい。												
7. 講義概要	明治時代から大正時代までの近代日本文学の歴史を、啓蒙期の文学、写実主義、擬古典主義、浪漫主義、自然主義、理想主義、新現実主義、プロレタリア文学という流れで概観していく。また近代日本文学を象徴する作品を具体的に取り上げ、それぞれの主題と明治・大正の時代背景や文化背景との関連性を考察していく。												
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本近代文学史の流れの特徴をそれぞれの時代背景・文化背景と関連させ説明することができる。</li> <li>2. 日本近代文学史の概観を、具体的な文学作品と関連付けながら説明することができる</li> <li>3. 日本語教育の一環としての文学教育の意義と効用を説明できる。</li> <li>4. 日本語教育の一環として近代文学史を理解する意義を説明できる。</li> </ol>												
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各回の事後学習で取り組んだワークシートを翌週提出する。</li> <li>・学期末レポート課題： 明治・大正期の日本文学作品の一つを選び、「時代背景」「あらすじ」「感想」「近代文学史におけるその作品と作者の位置付け」をまとめた学期末レポートを作成する。</li> </ul>												
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】大久保典夫・高橋春雄・保昌正夫・葉師寺章明 (編)『現代日本文学史』笠間書院、1988 ※そのほか、授業内で適宜資料を配布します。												
11. 成績評価の規準と評定の方法	<table border="0"> <tr> <td>授業への積極的参加度</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>レスポンスペーパー</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>課題</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>グループ発表</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>期末レポート</td> <td>20%</td> </tr> </table>			授業への積極的参加度	20%	レスポンスペーパー	20%	課題	20%	グループ発表	20%	期末レポート	20%
授業への積極的参加度	20%												
レスポンスペーパー	20%												
課題	20%												
グループ発表	20%												
期末レポート	20%												
12. 受講生へのメッセージ	日本文学に関心を持つ学生であっても、作品に対する理解は叙述されている本文を解釈するに留まり、作品に関わる周辺知識をあまり認識していない場合が多いと感じます。また、現代日本語の成立は近代日本文学の発展に依拠するところが大きく、したがって、近代文学史を学んでおくことは、日本文学に関心を持つ学生のみならず、日本語学に関わる学生にとっても意義のあることと思われます。この授業では、明治期・大正期の文学者や文学作品について学ぶとともに、その時代背景の知識を広げることを目指します。												
13. オフィスアワー													
14. 授業展開及び授業内容													
講義日程	授業内容	学習課題											
第1回	授業概要・「近代文学」とは？	事前学習	目次に目を通し、全体の流れを把握しておく。										
		事後学習	青空文庫を検索し、どのような作品があるか確認する。										
第2回	明治文学(1)：近代小説の誕生の背景を学ぶ	事前学習	pp.3-8を読み、大切だと思うところと疑問に思うところに線を引く。										
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。										
第3回	明治文学(2)：写実主義について学ぶ	事前学習	pp.8-10を読み、大切だと思うところと疑問に思うところに線を引く。										
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。										
第4回	明治文学(3)：擬古典主義と浪漫主義について学ぶ	事前学習	pp.10-12を読み、大切だと思うところと疑問に思うところに線を引く。										
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。										
第5回	明治文学(4)：観念小説ほかについて学ぶ	事前学習	pp.13-16を読み、大切だと思うところと疑問に思うところに線を引く。										
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。										
第6回	明治文学(5)：明治期の戯曲・短歌・俳句について学ぶ	事前学習	pp.16-18を読み、大切だと思うところと疑問に思うところに線を引く。										
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。										
第7回	明治文学(6)：自然主義と非／反自然主義について学ぶ	事前学習	pp.45-50及びpp.18-21を読み、大切だと思うところと疑問に思うところに線を引く。										
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。										
第8回	明治文学(7)：自然主義文学を読む	事前学習	pp.50-56を読み、大切だと思うところと疑問に思うところに線を引く。										
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。										
第9回	大正文学(1)：耽美派文学について学ぶ	事前学習	pp.22-26を読み、大切だと思うところと疑問に思うところに線を引く。										
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。										
第10回	大正文学(2)：理想主義について学ぶ	事前学習	pp.27-30を読み、大切だと思うところと疑問に思うところに線を引く。										
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。										
第11回	大正文学(3)：新現実主義について学ぶ	事前学習	pp.30-35を読み、大切だと思うところと疑問に思うところに線を引く。										

		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。
第12回	大正文学(4)：大正時代の明治作家の活躍について学ぶ	事前学習	pp.35-38を読み、大切だと思うところと疑問に思うところに線を引く。
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。
第13回	大正文学(5)：プロレタリア文学について学ぶ	事前学習	pp.39-44を読み、大切だと思うところと疑問に思うところに線を引く。
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。
第14回	日本語教育の一環としての日本文学史について学ぶ 学期末レポートの発表	事前学習	発表担当者はレジメを用意する。
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。
第15回	授業の振り返り 学期末レポートの発表	事前学習	発表担当者はレジメを用意する。
		事後学習	授業内容をワークシートにまとめる。